

「生命のがん教育」を実施しました

(令和6年3学期分)

令和6年3学期は24校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(山ノ内小学校)



(泉川中学校)



(東総合支援学校)

◎小学校 (11校)

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月15日	宇治田原町立宇治田原小学校	6	宇治徳洲会病院 放射線治療センター長 平岡 眞寛
1月17日	京都市立美豆小学校	6	京都済生会病院 院長補佐・消化器内科部長 大野 智之
1月21日	宇治市立西大久保小学校	6	京都岡本記念病院 緩和ケア科副部長 丹波 和奈
1月22日	宇治田原町立田原小学校	6	宇治徳洲会病院 放射線治療センター長 平岡 眞寛
1月31日	京都市立山ノ内小学校	6	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 森田 理美
2月5日	京都市立桂坂小学校	6	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
2月6日	京田辺市立普賢寺小学校	6	京都府山城南保健所 所長 細川 暢子
2月12日	京丹波町立竹野小学校	5・6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
2月18日	京都市立祥豊小学校	6	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 森田 理美
2月20日	京都市立紫野小学校	6	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎
3月7日	京都市立下鴨小学校	6	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘

<児童の感想>

- ☆ がんになっても一人ぼっちじゃないことが分かりました。大切な人にがん検診を受けてと言うようにしたいです。
- ☆ がんはなりたくなくても対策をしてもなるから、できるだけ予防などをしていつてかからないようにしていきたい。がんにもできる場所がたくさんあることも知った。他にももっとなりにくくするように安全に気をつけていきたい。家の人やおじいちゃんなどにがんについて習った範囲で伝えてみたい。伝えるだけでがんのことを考えてくれるかもしれないから伝えてみる。大事な人にも、がんの大変さを知らせてみていろんな

ことを言いたい。伝えるだけでなく自分もしっかりと覚えて役に立てたいと思った。

- ✧ がんは体のあらゆるところにできてしまうことを知りました。2人に1人になると知ってとても身近な病気で、日本ではたくさんの方ががんで亡くなっていると分かったけど、ワクチンや食事など予防方法があると知りました。家族でたばこを吸っている人はいないけど、ソースなどの食生活に気をつけようと思いました。
- ✧ がんは誰でもなる可能性があり、そして、発見が遅れれば命にも関わるような病気なことがわかった。だから、これからは規則正しく生活して少しでもがんを防ごうと思った。
- ✧ がんは怖い病気だと思いました。がん検診を受けられる年齢になったら早めに受けようと思いました。がんにならないように規則正しい生活を送って、ワクチンもしっかり受けようと思いました。
- ✧ 今日の授業でがんについて深く知れたけど、がんになる確率が2人に1人だと初めて知ったし、お父さんやお母さんにも今日知ったことを伝えたい。授業で学んだことをもとに自分の生活を気をつけたり、周りの人にも今日知ったことを伝えたり、もし自分がなったら気持ちをポジティブにしたい。
- ✧ がんは2人に1人の確率でなると分かり自分もなる可能性があるのも、大人になったら必ずがん検診に行こうと思いました。
- ✧ 2人に1人がなったり3人に1人ががんで亡くなると分かりました。検診を受けられるようになったら受けたいです。がん検診を受けるよう促したり、がんにならなくても距離を変えずに寄りそっていきたいです。
- ✧ がんは誰でもなる可能性があるのも、日頃から生活習慣に気をつけて生活していきたいと思いました。がんの検査なども受けたいし、親に言っておきたいです。周りの人をしっかりとサポートしてあげたいと思ったし、思いやりを持って行動したいと思いました。がんの検査は受けたほうがいいよと家族や友達にも言ってみようと思いました。
- ✧ 人は誰でもがんにかかるけど、それを知らない人はまだまだいるから、みんなに広く知らせて、がんの早期発見に力を入れていきたいと思いました。
- ✧ 父や母に対して、たとえ元気だったとしても、そういう時こそ検診しないといけないと言うなどして大切さを教えようと思いました。

◎中学校（8校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月17日	南丹市立美山中学校	2	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
1月21日	八幡市立男山第三中学校	2	宇治徳洲会病院 病理診断科医員 福井 彩香
1月30日	宇治田原町立維孝館中学校	2	宇治徳洲会病院 病理診断科医員 福井 彩香
2月3日	八幡市立男山東中学校	1	京都岡本記念病院 緩和ケア科副部長 丹波 和奈
2月10日	宮津市立栗田中学校	1・2	京都府立医科大学附属北部医療センター 副病院長 黒星 晴夫
2月26日	京都市立洛水中学校	3	京都済生会病院 院長補佐・消化器内科部長 大野 智之
2月27日	京丹後市立峰山中学校	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科副医長 竹村 圭祐
3月4日	井手町立泉ヶ丘中学校	1	京都府山城北保健所 所長 重見 博子

<生徒の感想>

- ✧ がんの怖さを再確認できて大人になったらしっかりがん検査を受けようと思った。お父さんにたばこやめさせようと思った。
- ✧ がんは健康に悪い生活をしているとなる病気だと思っていたけど、それ以外にウイルス感染によってもかかると知って驚いた。だから、完全にがんを予防するのは難しいだろうけど、できる限りかかる確率を下げられるようにしたいと思った。話を聞いて、がんは体だけでなく心にも影響を与えるのだなと思った。だからもし誰かががんにかかったら、その人の不安を和らげるような言葉をかけてあげたい。
- ✧ がんの病気はそんなに重たい病気ではないと思っていたけど、今日の話でがんというのは、こんなに恐ろし

いものだと分かりました。これからは規則正しい生活をしていきたいです。今日学んだことを親に教えて、おじいちゃん、おばあちゃんにも教えていきたいです。また大人になってもタバコは吸わずに、お酒もできるだけ控えて、大人になっても今日教えてもらったことを思い出して生活していきたいと思いました。

- ✧ 自分はこの授業を受ける前は、がん検査をして実際にがんが見つかったらどうしようと怖くて、あまり検査はしたくないと思っていたけど、この授業を受けて、自分は健康で長生きするために、がん検査はしておくべきだと思った。また早い段階でみつけて早い段階で治療できるようにしたいと思った。自分も少しでもがんにならないために、今のうちから出来ることはしておきたいと思った。
- ✧ がんにはどのような種類があるのかと治療法について知れた。実際にかかった人の気持ちも知れた。
- ✧ 100%がんを予防するっていうのは無理だけど、がんにならないように自分ができる最大限のことをしたい。例えば子宮頸がんワクチンをまだ打っていないから、また打ちに行きたい。自分のお母さんが子宮頸がんワクチンについてあんまりよく分かっていなくてまだ打ててないから、今日知ったことをちゃんと伝えて打ちたいし、これからワクチン以外でできることもたくさんあるから話したい。
- ✧ ガンは誰にでもなる病気だということや、毎日がんの細胞が体の中で作られているということがわかった。今までがんの治療法は二つだけだと思っていたが、話を聞いてみると四つも治療法があることがわかり、複数組み合わせで治療できるのは初耳だった。健康な暮らしができてることが幸せなんだと感じました。
- ✧ がんは何百人に1人になるくらい、なる確率が低い病気だと思っていたけど、2人に1人ががんになると知りとても驚いた。それでもがんにならないために適度な運動やバランスのとれた生活、大人になったときにたばこを吸わなかったり、お酒をほどほどにしたりする予防をしようと思いました。もし自分の友達などの周りの人ががんになってしまったら、定期的にお見舞いに行ったりし、寄り添ってあげようと思いました。それはがんにかかった人は体の痛み以外にも精神的にも辛さを感じたり、ストレスがたまったりしてしまうと思うからです。また、がんの痛みを抑えるための緩和ケアというものも勧めたり、何が出来ることを全力でしようと思いました。

◎高等学校（5校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月24日	同志社高等学校	1	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎
1月27日	京都聖カタリナ高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
2月7日	京都市立東総合支援学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 森田 理美
2月19日	華頂女子高等学校	1	京都第一赤十字病院 がん放射線療法看護認定看護師 桐谷 眞澄
2月19日	京都府立北桑田高等学校	2	京都府立医科大学教育センター 次世代研究者挑戦的研究プログラム 特任教授 曾和 義広

<生徒の感想>

- ✧ 大きく感じたことは、がんにかかっても適切な治療を受けてリハビリをすれば、今まで通り幸せな生活を送り続けられるということです。実際にがん経験者の話を聞いて辛いことはもちろんあるけれど、それ以上に人との繋がりが闘病期間の救いになりうることを学べて良かったです。がんにかかったからといってこれからの人生が台無しになる訳ではないことを伝え、大切な人ががんとうまく決めたとしたら全力でその人と向き合いたいです。また、自分の思っている大切な人に頼ってもらえるような信頼関係を築き、積極的に人との繋がりを大事にして、これからの人生を過ごしていきたいと感じました。
- ✧ 学んだことは、がんは2人に1人ががんにかかることがびっくりしました。今日のお話を聞いてみて本当に身近な病気で怖いなと思いました。がん検診を受けられる年齢になったらがん検診を受けようと思います。
- ✧ たばこをすったらはいがわるくなることがわかりました。
- ✧ がんをできるだけ早く見つけるために、大人になったら定期的ながん検診を受けたいです。

☆ この話を聞く前、がんは治らないとても怖い病気だと思っていました。しかし先生の話などを聞いて、早期発見・早期治療を行えば治る確率がとても高いことが分かりました。なので、がん検診を受けられる年齢になったら、必ず受けに行こうと思いました。また、周りの人にも今日聞いた話を伝えようと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp